



# 県立三好病院

平成28年3・4月



今月の内容 地域医療センター紹介  
秘境駅 探訪  
行事食紹介

## 糖尿病専門外来

第2・第4月曜日に県立中央病院の糖尿病専門医が診察を行っています。受診希望の方は、かかりつけ医の紹介状が必要です。かかりつけ医から当院地域連携室を通してのFAX予約も可能です。

## がんサロン・談話会

毎月第3木曜日 午後1時半～3時(90分)

対象：がん患者さん・ご家族（他院で治療中の方も歓迎です）

会場：新病棟8階 展望室または外来棟2階多目的ホール

当院の専門職が、がんについて様々なテーマでお話をして質問に答えます。また、患者さん同士でお互いの体験を語り、がんと付き合うコツを学び合います。

お問合せ：三好病院 総合案内・がん相談支援センターまで

三好病院は、国の「がん拠点病院」（地域がん診療病院）として  
昨年3月末に認可され、様々な事業に取り組んでいます。

# 地域医療センターより

## 患者様に寄り添った医療をめざして



地域医療センター長 田村克也

地域医療センターは、平成18年に開設されました。

病院正面玄関の少し奥にあります。病院の中では、聞き慣れない部署と思います。何をしているのか、その業務につきご紹介いたします。

三好病院は、平成26年8月に新病棟が開院し、CT装置、MRI装置、血管撮影装置が最新の装置になり、リニアックも新たに導入されました。また緩和ケア病棟も新設されました。新病棟開院により設備は充実し、急性期の高度な治療が可能になりましたが、三好病院だけでは治療を完結することはできません。地域のなかの様々な医療施設と協力して一人の患者様を地域全体で切れ目なく治療することが必要です。そのため、地域医療センターは外来での紹介患者の受付調節（Fax予約など）、地域医療施設への逆紹介などの連絡を引き受け、情報のやり取りなど病院間の連携がスムーズにできる様に働いております。また患者様の、退院、転院時には患者様の要望にあった医療機関の紹介や転院の調整なども行っております。地域の医療機関と緊密に連携し、情報のやり取りや、予約の窓口を務める事が1つめの大きな役割です。

もう一つの役割は、患者様の悩みに寄り添うことです。そのため医療相談室をつくりました。患者様の医療における不安、問題などにつき相談に応じております。安心して治療を受けていただけるように、社会保障制度の活用方法、医療費・生活費の問題、退院後の生活や療養上の不安や悩みなど、医療や福祉に関するご相談を、お受けしています。いかなる病気も本人、家族にとって大問題ですが、その中でも癌の診断をうけると特に深刻です。そこで、あらたに癌治療についての相談もお受けするよういたしました。癌診療についてのわからないことについて説明、助言などお手伝いさせていただいております。

地域医療センターは、これからも地域の医療機関、患者様の窓口となり、また患者様の心配事の良き相談相手となるよう、努力したいと考えております。よろしくお願いいたします。

### スタッフ紹介

前列左から住友初代（看護師）  
田野玲子（看護師）  
長谷川逸子（医療相談員）



後列左から大西広行（MSW）  
中川宗史（PSW）  
片岡秀雄（医事課長）  
米倉和宏（MSW）  
岡田香織（事務員）

\*MSW（医療ソーシャルワーカー）

社会福祉の立場から、問題の解決・調整を援助し退院や社会復帰のお手伝いをする専門職

\*PSW（精神保健福祉士）

精神保健福祉領域のソーシャルワーカー

## 秘境駅 探訪



MSW 米倉和宏

三好病院へ異動となり、二年の月日がたちました。

赴任してきた当初は、全く土地勘がなく、また池田独特のカタカナ地名もあり、申し訳ありませんが非常に戸惑いを感じました。

そこで、せっかく三好に来たのだから!というわけで、徒歩通勤、早朝トレッキングなどを行い、西山小学校、馬場小学校など歩きながら土地勘をつけるべくできるだけ歩きました。

なお、服装がトレッキングや登山というものでなく、ジャージにウインドブレーカーなど散歩をしているいでたちであり、おそらく「誰?」「何してるの?」と、いぶかしがられそうですが・・・。

一度は行きたかったのが、秘境駅といわれている坪尻駅です。しかし、なぜ秘境なのか? それを体験するべく駅まで行ってきました。

① 三好病院から猪ノ鼻峠経由で坪尻駅まで徒歩2時間程度

② 坪尻駅から木屋床経由で三好病院まで徒歩2時間

①のルートは猪ノ鼻峠を歩くため、いくら歩道があるとはいえ、トラックが怖い。

②のルートは、ある程度地図を読み込まないと、迷ってしまう。



木屋床経由で山道(おそらく以前は重要な生活道)を歩くこと2時間。秘境、坪尻駅に到着!

すんなり行けば1時間で三好病院に到着すると思います。やはり、秘境駅といわれるだけあって、風情があり、スイッチバックもちゃっかりと拝見させていただきました。鉄道ファンでなくても、感動するものがあります。

なお、今後の目標は、徒歩で黒沢湿原に行くことです。以前、8kmでギブアップしました。今年こそはたどり着きたいと思います。



## 三好病院では

季節感のある行事食(23回/年)に加え、病院で使用している徳島県の食材や郷土色ゆたかなメニューを毎月第4日曜日に「あわっこの日」として提供するなど、入院生活の中で少しでも食事を楽しみを感じていただけるよう努力しています。

### 七夕



\*七夕そうめん \*海老の天ぷら  
\*冬瓜の旨煮 \*キラキラゼリー

### 文化の日



\*ちらし寿司 \*煮しめ \*大福  
\*アスパラソテー \*キャベツの和え物

### あわっこの日 徳島の食材

\*阿波鶏のチキンカツ



\*そば米チャーハン



### クリスマス



\*ローストチキン風 \*サラダ  
\*スープ煮 \*クリスマスケーキ

### お正月



\*雑煮 \*祝い肴  
\*紅白なます



## 病院ボランティア募集

活動内容：外来受診の案内・介助など

活動時間帯：平日の午前中

要件：月2回程度、活動できる方

新病棟が完成して、玄関受付から放射線検査や各病棟までの移動が遠くなり、手助けが必要な方が増えています。病院内の案内などをお手伝いして下さると大変助かります。

お問合せ：三好病院 事務局 医事課まで

御意見・御要望がございましたら、ホームページ、または院内御意見箱までお願いします。広報バックナンバーは、ホームページにて御覧になれます。

## 臨時看護師募集

随時募集しています  
詳しくはホームページを御覧ください  
<http://www.miyoshi-hosp.jp/>

～ 県立病院基本理念～

県民に支えられた病院として  
県民医療の最後の砦となる

発行 徳島県立三好病院 広報委員会

〒778-8503 徳島県三好市池田町シマ815-2

TEL 0883-72-1131 FAX 0883-72-6910